

僕とケアニンとおばあちゃんたちと。上映会事例

<ケアパレット清瀬 様>

上映日：2022/11/12(土) 場所：清瀬市中清戸市民センター1階ホール(東京都清瀬市)



今まで学んだ専門職の知識を思い起こす、原点に戻れる映画だと思えます

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

コロナ禍の影響で、毎年行っていた研修会がここ2年ほど開催できませんでした。今年は、感染症対策を施し、映画上映会なら開催できるのではないかと思います企画しました。

上映作品は、以前「ケアニン」を視聴した方から、「ケアニン」を推す意見もありましたが、上映料金との兼ね合いで、「僕とケアニンとおばあちゃんたち。」を選択しました。

初めて映画上映会を行うにはお手頃な価格ですし、「ケアニン～あなたでよかった～」の舞台にもなっている「あおいけあ」は、海外からも見学に訪れるとても有名な施設なので、映画を通して一度は見ておいた方が良く思いました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

清瀬市で働くホームヘルパーの事業所の連絡会「ケアパレット清瀬」です。

●後援、協賛、協力などを得られた団体や個人があった場合、どのように依頼し、どういった協力を得られましたか？

当連絡会は独立した団体ですが、コロナ禍前は、他の団体(ケアマネや訪問看護、リハビリ)と連携して合同研修会を行っていました。コロナ禍でなければ、これらの団体にもお声掛けをしていました。

●資金はどのように捻出しましたか？

会員事業所からの会費と、毎年行うバザーの売上金をプールしていたため、会場費などもそこから賅えました。

●地域へどのように告知をしましたか？

参加対象者を会員事業所に絞っていたので、他に告知はしていません。ただし、確実に会員事業所に知らせるため、チラシと申し込み用紙を郵送しました。

●鑑賞後の感想や反応など、周りに何か変化はありましたか？

人数制限の為、午前と午後の部に分けて行いました。午前の部終了後には、涙を拭く方が数名いらっしゃり、感動されたのが分かりました。アンケート結果もほぼすべて良かったと書かれていました。

●地域で新しいつながりができた・今後の活動に繋がった等のエピソードはありますか？

上映会を準備するにあたり、一番気にしたのは、「コロナ感染」でした。メンバーから、「実行するためにはどうしたらいいか」という意見を出してもらった事で、それぞれが納得する形で実行できました。コロナの影響で研修会を諦めるのではなく、「どうすればできるのか」という事を話し合えたことで、今後も前向きな考えをもって話をしていくことが大事なんだと思いました。

●上映会の感想はいかがでしたか？

この上映会がコロナ感染につながったらどうしようという不安がありました。検査キットで陰性を確認してから、入場させること

により、安心して開催ができました。コロナ感染者を出していない会員事業所が多いため、この形なら次回も開催ができるのではないかと自信になりました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

「ケアニン」シリーズは、専門職の人たちが今まで学んだ知識を思い起こす、原点に戻れる映画だと思えます。「ケアニン」を紹介するときにいつも話すのですが、車いすに座っている水野久美さん(星川敬子役)に、大森圭君が腰をかがめて、視線の高さを合わせています。これは、介護福祉士の基本だと思います。こういう基本的な事が、この映画のどこどこにちりばめられています。「ケアニン」を見るととても勉強になりますので、この映画を見るのが研修になると思います。

ご担当者：間宮 奈保子さん

清瀬市で働くホームヘルパーの事業所の団体。年に一度の研修会、バザーの活動をしています。何事も楽しくやることを大事にしている団体です。